

# 「第5回市民会議」

## を開催しました！

千歳市では、今後の市民生活や産業活動を支える市街地・都市基盤などの「都市計画」に関して新たな計画（都市計画マスタープラン、立地適正化計画）を策定するため、将来に向けた都市づくりを皆で話し合う『市民会議』を開催しています。

8月中～9月初旬に書面により第5回市民会議を開催し、これまでの会議結果を集約した「まちの発展と住みよさが続くための検討テーマに関する提言書（草案）」を配布・共有し、加筆修正したい内容についてご意見をうかがいました。

各委員のご意見をまとめると、以下のとおりとなります。

### 「まちの発展と住みよさが続くための提言書（草案）」に対する意見

検討テーマ	現状・課題への意見	提案（目指す姿や方向性）への意見
① 中心市街地の賑わいを高めるためには？	<ul style="list-style-type: none"> <li>中心市街地の集客機能の低下は、市内外問わず、土地全体の社会機能に干渉する。</li> <li>まち中に来る目的がなくなっている。</li> <li>「周辺地域の自然」が何を指しているか具体的にすべき。</li> <li>中心市街地ではマンションなど新しい建物が急増、新たに住む人たちの求めるものを意識した街づくりが必要。</li> <li>個々の特徴的なお店が営業しているが、“線”として繋がらないため賑わいが出ない。アートをキーワードにしたイベント等が街中に感じられない。</li> <li>まちなかに人が集まる「ハブ機能」について、タウンプラザとして再生を図ってきた経緯と今般の事態を踏まえた記述にすべき。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ハブ機能となる複合施設」について、将来性のある継続的活用を意識し中心市街地の形成を行うべき。</li> <li>将来性のある継続的活用を意識した中心市街地の形成を行うべき。</li> <li>商店街などに活気を戻す施策が必要。（景観・道路見直し、イベント開催（〇〇市、のぼり、祭り、はっぴ））</li> <li>食を中心に大型スーパーと差別化した商店街の形成が必要。</li> <li>街中から JR 駅までの動線を意識した商店街づくりが必要。</li> <li>音楽・アート、そして“文化等”を意識した“感性に訴える”空間づくりを導入すべき。</li> <li>「周辺地域の自然」が何を指しているかこの表現では分かりづらい。もっと具体的に表現した方が良い。</li> <li>商店街活性化は中心市街地活性化の一部であり、一方策として記述すべき。</li> <li>中心市街地に賑わいをもたらすには若者やよそ者のアイデアを積極的に活用するのが良い。改革の担い手となる若手経営者等が出店、活動しやすい資金的支援を行うことが考えられる。</li> </ul>
② 市街地の資源（千歳川、道の駅等）をもっと活かすには？	<ul style="list-style-type: none"> <li>資源・魅力については、今あるものを上手く活用する方法が不足している。</li> <li>PR の仕方に課題がある。</li> <li>観光、周遊目的のアクセスの課題は、新千歳空港 IC から支笏湖方面に行く際、市街地を経由しなければならぬことである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>サーモンパーク駐車場を拡大するべき。</li> <li>訪れる目的を作る、体験型のイベントを開催するべき。</li> <li>道道泉沢新千歳空港線の整備などにより、新千歳空港や支笏湖、キウス周堤墓群の連携を強化するべき。</li> <li>道の駅サーモンパーク千歳の「更なる拠点化」のイメージがわからない。</li> <li>市街地の駐車場や「アクセス道路の整備」どこを指すか示すべき。</li> <li>「魚や野菜の販売など」の「魚」はどんな種類を想定しているのか。</li> <li>清流千歳川を最大限に生かすべき。（川の駅設置、水族館リニューアル、水族館とアイヌ文化がコラボした展示など）</li> <li>南千歳駅の拠点づくりについては、アクセス・立地の条件の良さをアピールすべき。</li> <li>市内をシームレスに移動するため、JR、バス、タクシー等と連携した MaaS のようなシステム作りを行うべき。</li> </ul>

検討テーマ	現状・課題への意見	提案（目指す姿や方向性）への意見
③ 空港や支笏湖、農村との連携をもっと進めるには？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インバウンド客に関して、中心街へのアクセス・需要を見出す。</li> <li>・支笏湖、農村など訪れる場所がどこにあるかわからない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイド育成や地域連携に着目し、市からの発展的行動。</li> <li>・AP（アクセスポイント）に案内や販売所の設置、体験させるしかけが必要。</li> <li>・農村地域でもインターネット光回線の整備が必要。</li> <li>・理工系大学の特徴を生かしたユニークな研究が行われている千歳科学技術大学との連携策をもっと強化し、産学官連携で大学の研究活動の支援を行い、街の特徴づくりを行うべき。</li> </ul>
④ 住みたいと思える景観のあるまちにするには？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会活動に中高生を含む若い人材を取り込む活動が必要。</li> <li>・景観（見た目）も重要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グリーンベルト・人が集まる憩いのベンチを設置するべき。</li> <li>・市民団体やボランティア団体等と市、企業側の連携とコミュニティを大切にしたいプランを構築するべき。</li> <li>・駅前から見直すことが必要。</li> <li>・市民が考える場を増やすべき。</li> <li>・「親水空間」とはどこを指すのか示すべき。</li> <li>・千歳市としての街のシンボルを決定し、JR 駅前や中心市街地にそれに繋がるモニュメントづくりを行うことで街のストーリー作りを行うべき。</li> </ul>
⑤ 進出企業（働く場所）をもっと増やすには？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住みやすい環境の PR が必要。</li> <li>・千歳市が積極的に広報活動をしているが、働く人達へのメッセージが足りない。</li> <li>・働く子育て世代、若い世代が、土地価格の上昇から住宅を購入できないことや、子育てへの支援などを理由に市外に居住するケースがみられ、市内への居住に結びついていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市のサポートを含めた計画を実行するべき。</li> <li>・交通網の拡大、車社会から脱却すべき。</li> <li>・「歴史・文化の PR を積極的に行う」ことが、どのようにして従業員の定住に繋がるのか説明が必要。</li> <li>・短期的な移住制度を積極的に導入し、千歳市の良さを知ってもらうことで定住へ結びつける取り組みが必要。（移住公務員のような制度の利用が有効）。</li> <li>・東京、内地方面ばかりでなく、道央圏、千歳市に進出したいと考えている道内企業にも積極的に PR すべき。</li> <li>・市所有地の売却において土地価格の上昇を抑える入札を実施する事により若い世代などが購入しやすい価格を目指し、千歳市への定住人口増加を図るべき。</li> <li>・JR 南千歳駅周辺の交通拠点化を図る。トラックドライバー等の休憩、宿泊施設の形成が必要。</li> <li>・企業誘致について、優遇措置など含めた提案を盛り込むべき。</li> </ul>
⑥ 便利な買い物環境をつくるには？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内分散や特色活用の度合いが小さい。</li> <li>・買い物ルートの開発が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・街を大きなスーパーにみたく、案内しやすい環境を整備するべき。</li> </ul>
⑦ 市民ニーズに対応した公園緑地づくりをするためには？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な使用方法が可能な利便性とその提示を増やすべき。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民会議を開催し、市民の意見を聞くべき。</li> <li>・IT 技術を活用した公園緑地づくりとは、どのようなことか示すべき。</li> <li>・川沿いの遊歩道は、道路を横断せず、橋下を通れるような整備をするべき。</li> </ul>
⑧ コミュニティや居住密度を維持するには？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティ活動へのアプローチが必要。</li> <li>・マンションやアパートが増加し、コミュニティの繋がりが希薄になっており、どの町内も人材が不足している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館周りにカフェで活性化を図るべき。</li> <li>・「テナント料の優遇といった支援策の検討」が「商業機能の強化」にどのようにつながるのかわかりづらい。</li> <li>・草案では、表題の「居住密度を維持するには」についての提案箇所が分からない。</li> <li>・ボランティア制度から資源回収等での収益を利用したインセンティブ制度に仕組みを変更する必要がある。</li> </ul>
⑨ 災害に備えたまちづくりを進めるには？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・備えに対する様々な方法・パターンを用意することが必要。</li> <li>・市町連等と連携し、避難所での感染症対策の対応が重要。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症も考えた上での対応は難しいものがある。</li> </ul>	
⑩ 子育てしやすいまちづくりを進めるには？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市側が市民の声に対する円滑な対策づくりが必要。</li> <li>・市ぐるみで進める必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性の活躍をサポートする環境づくりをするべき。</li> <li>・何をもって子育てしやすいか、アンケート調査を行うべき。</li> <li>・学校区間の生徒・児童数の不均衡などを繰り返さないように民間人の知恵も入れて、協働して検討すべき。</li> <li>・地元を愛する市民を増やすためにも、初等教育時点から千歳の歴史、文化等について学ばせるカリキュラム作りを教育現場で行うべき。</li> </ul>